資料１－１

地域科学技術施策ＷＧの設置について

平成 20 年 1 月 29 日
基本政策推進専門調査会

１．　主旨

第７１回総合科学技術会議における有識者議員からの意見表明を踏まえ、今後、科学技術による地域活性化を図るため、地域の内発的・自立的な取組を促しつつ、各府省、地方公共団体、独立行政法人等が推進する地域科学技術施策全体を俯瞰しながら、地域のイノベーションの創出を強力に推進するための、我が国としての総合的な戦略を策定するため、基本政策推進専門調査会の下に地域科学技術施策ワーキンググループ（地域ＷＧ）を設置する。

２．　検討内容

科学技術による地域活性化のため、地域の主体性と自立へのコミットメント、地域の独自性と多様性の確保、地域ニーズ対応型の拠点とグローバル志向の拠点の共生、の視点を踏まえて、次の項目について検討を行う。

（１）地域主体の地域科学技術施策への転換について
（２）科学技術により活性化を図る地域を支援するための制度改革について
（３）産学官連携による地域における人材空洞化の流れの転換について
（４）イノベーション創出のための地域の大学の機能強化について
（５）研究成果の事業化支援と持続的なイノベーション創出を可能とする地域マネジメントの確立について
（６）その他

３．　ＷＧメンバー

座長　薬師寺泰蔵　総合科学技術会議議員
奥村　直樹　総合科学技術会議議員
石倉　洋子　総合科学技術会議議員

清水　勇　　独立行政法人工業所有権情報・研修館理事長
原山　優子　東北大学大学院工学研究科教授
麻生　渡　　福岡県知事
平山　健一　岩手大学学長
高須　秀視　ローム（株）取締役本部長
山口　裕　　朝日信用金庫常務理事

※その他の総合科学技術会議議員は、アドバイザーとして、随時参加。

４．　スケジュール

１月３０日　第１回ＷＧ
２月～４月　月１回程度の会議を開催
５月頃　　ＷＧにおける報告書案のとりまとめ、基本政策推進専門調査会決定、総合科学技術会議決定・意見具申